

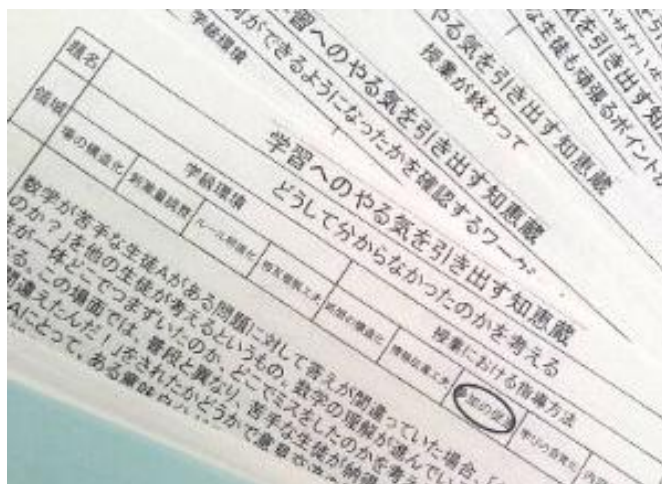
はにい

私の知恵

平成25年10月7日

「今日、楽しかった!」「どこが楽しかったの?具体的に教えて」
「それは・・・」

夏の校内研究会、終了後の若手教員の会話です。



この中学校では、教師一人ひとりが授業の中で気づいた「学習へのやる気を引き出す知恵」を簡単な用紙で収集しています。本日の研修では、それを使って、それぞれの授業で工夫できるポイントを協議しました。

ある先生は「情報伝達の工夫の視点」から映像情報の効果的な活用を提案し、ある先生は教師が系統的に学ぶことの重要性を提案しました。

「それはどうして?もっと聞かせて」「自分の授業で活かせるかな」「ワクワクする授業

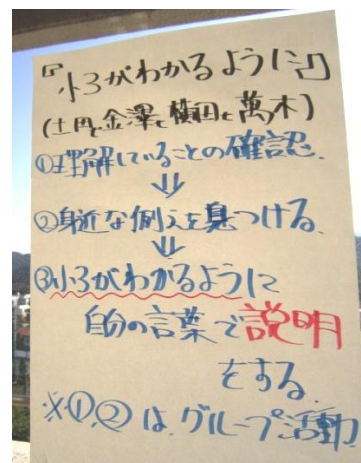
がしたいよね」「まだまだねらいが不明確で…」等々、対話で考えを深めあい、時に悩みを語り、明日からの授業を創り上げています。

あるグループでは、学習したことの理解を深める方法について協議していました。

「授業で学んだ内容を理解し身近な例にたとえ、中学校で学習した内容を、小学校3年生の児童にもわかるように自分の言葉で説明できるようになることで、確実な理解になっていく。」

そんな授業を目指していきたいという思いが伝わります。

校内研究でのキーワードは、職員室前の廊下に張り出されます。まさに、先生方がよりよい授業をしたいという宣言なのかもしれません。



本年度採用となった一人で全学年を担当する教科の先生が、
「最初は一人で不安に思っていたけれど、教科に関係なく他の先生たちからアドバイスをもらえて安心した。この学校にきて良かった。」
と明るく話してくれました。